

はじめに

1. エンブレムポストの防犯機能とは

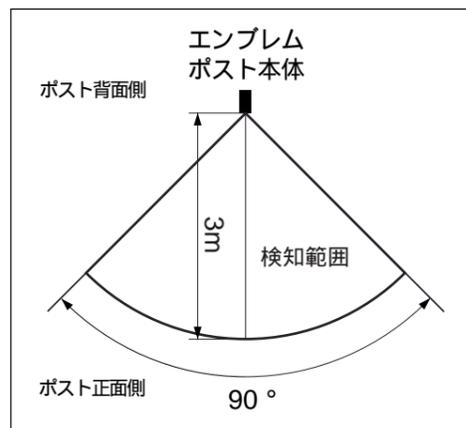
エンブレムポストの防犯機能は、人体から発せられる熱の動きを検知し、フラッシュライトを点滅させることにより、侵入者に警告を与えます。

主に玄関先に設置されることの多いエンブレムポストですが、家人に対する不要な反応を低減させるための「遅延機能」を備えています。また、防犯機能を夜間のみ動作させるための「明暗センサー」も内蔵しています。

この取扱説明書はエンブレムポストの防犯機能に関する取扱の説明のみ記されています。それ以外の取扱方法については、「エンブレムポスト取扱説明書」をご参照ください。

2. 人感センサーとは

センサー部分には焦電型人感センサーを採用しています。このセンサーは、人体から発せられる熱の動きを検知するものです。感知可能なエリアはポスト背面から半径3メートル、中心角90度の扇形をしています。



センサー検知範囲平面図

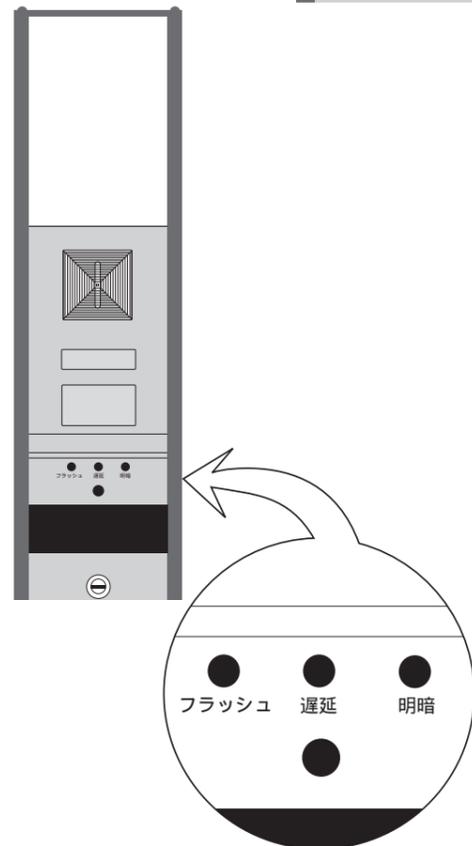
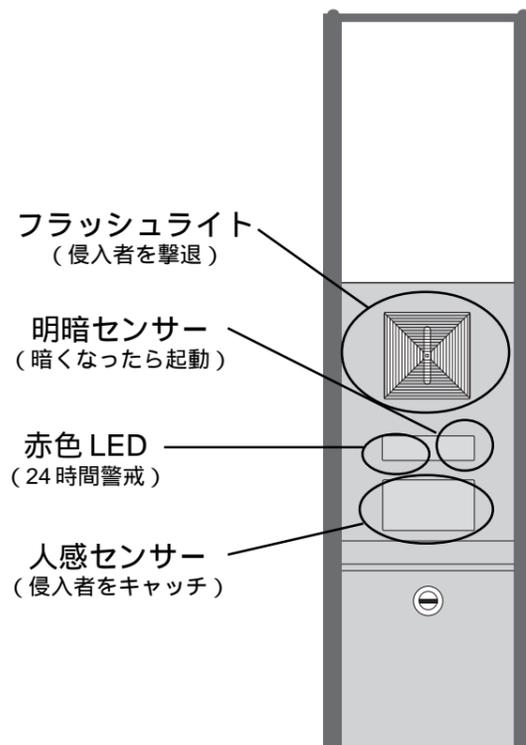
注意：感知エリア内に存在しても、その熱源が動かない場合には、センサーは感知しません。また、感知エリア中に動く熱源（風に揺れる植栽、エアコン室外機の吹き出し口、犬猫等の小動物）が入った場合には、センサーは感知します。

3. 遅延機能とは

通常の人感センサーでは、侵入者などが検知エリア内に入ると直ちに感知して、侵入者に警告を与えます。しかし、玄関先に設置することの多いエンブレムポストの場合、これでは、家人の帰宅の場合でも常に反応してしまいます。

遅延機能は、最初にセンサーが侵入者等を感知した後、一定期間時間をおいて、引き続き侵入者を感知した場合、警告を開始します。これで、玄関先をすぐに通過する家人およびインターホンを使って玄関をあけてもらった来客などにフラッシュライトが光る可能性を大幅に減少させることができます。

各部の名称



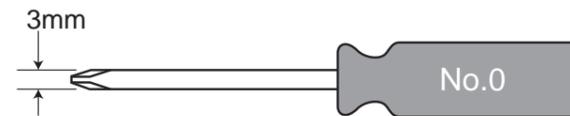
各機能の設定機能

エンブレムポスト防犯機能オプションは、「明暗センサーの感度」「フラッシュライト始動遅延時間」「フラッシュライト動作時間」のそれぞれを設定変更する事が出来ます。エンブレムポストをお使いの環境にあわせて、最適な設定でご利用ください。

作業を始める前に

1. ご用意いただくもの

小型の+ドライバー（No.0）が必要です。百元ショップやホームセンターで売られているドライバーセットに入っているもので十分です。百元ショップで新たにドライバーセットをご購入になる場合は、プラスのドライバーが3種類は入っているものをお選びください。その中で一番小さいドライバーを使います。



2. 電源の切断

エンブレムポストの設定を始める前に、必ず壁スイッチにてエンブレムポストの主電源を落としておいてください。特に昼間は、明暗センサーの機能により蛍光灯が消灯していても、エンブレムポストに通電している場合がありますのでご注意ください。エンブレムポストに電気が来ている場合は、ポスト背面の乳白色の窓より赤色LEDが点滅しています。

設定作業

1. 電源が切れていることの確認

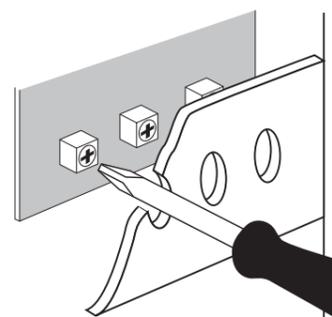
必ず壁スイッチでエンブレムポストの元電源を切ってください。

2. 郵便物取り出し口を開ける

郵便物取り出し口を開けてください。雨などで郵便物取り出し口付近が塗れている場合は、乾いた布で水滴を拭き取ってください。

3. 設定用ボリュームの配置

郵便物取り出し口の上の方に3つの穴が横に並んでいます。（下図参照。すこし下の方にある大きい穴は取り出し口の錠のための穴です。この穴にドライバーを差し込み回転させることにより、それぞれの機能を調整します。



4. 明暗センサーの感度の調整

一番右側の「明暗」と書かれた調整ネジは、明暗センサーの調整ネジでセンサー、蛍光灯を動作させる屋外の明るさを設定するための物です。ここで設定した明るさより暗くなった時に、蛍光灯が点灯し、防犯機能が始動します。

ネジを一番左に回すと、より暗い状態にならないと点灯しなくなり、右に回すと明るい状態で点灯するようになります。ご使用の環境にあわせて調整してください。

5. 人感センサーの反応遅延時間の調整

真ん中の「チエン」と書かれた調整ネジは、人感センサーが人を感知し始めてから、実際にフラッシュライトを点滅させるまでの遅延時間を設定するためのものです。ここで設定した時間より早く人が立ち去るとフラッシュライトは点滅しません。

一番左に回した状態は、遅延時間がゼロで人を感知すると即座にフラッシュライトを点滅させます。右にまわしていくと、最長で30秒の遅延が設定できます。なお、一番左側から15度程度までの間は0秒の設定になっており、そこを超えると最短5秒の設定になります。

6. フラッシュライトの点滅時間の調整

一番左側の「フラッシュ」と書かれた調整ネジは、フラッシュライトを点滅させる時間を調整するためのものです。

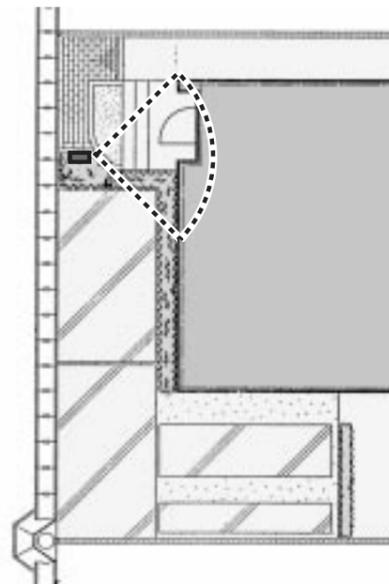
一番右側に回した状態で、最長の30秒間点滅します。一番左側に回すと点滅をおこなわず人感センサーは停止状態になります。

裏面につづく...

## 設定のコツ

### 1. 玄関先への設置

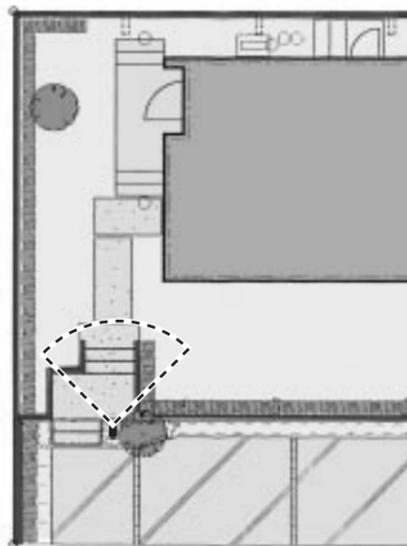
ほとんどのお客様の場合、エンブレムポストは下の図のように玄関の前に設置されることと思います。



この場合は、遅延時間を10秒から15秒に設定して、玄関に入る家人にたいしてフラッシュライトの反応を減少させることができます。

### 2. 玄関からはなれた通路への設置

下の図のように、玄関から離れた位置に設置する場合は、遅延時間をゼロにして通過センサーとして働かせます。

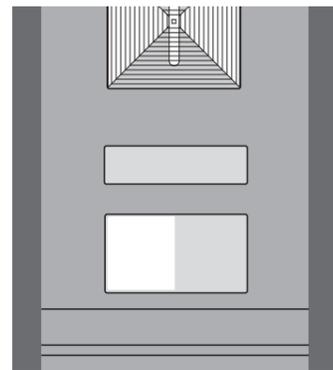


感知エリアを人が通ると、即座にフラッシュライトが点滅します。フラッシュライトの点滅時間も短めに設定しておくのがよいでしょう。

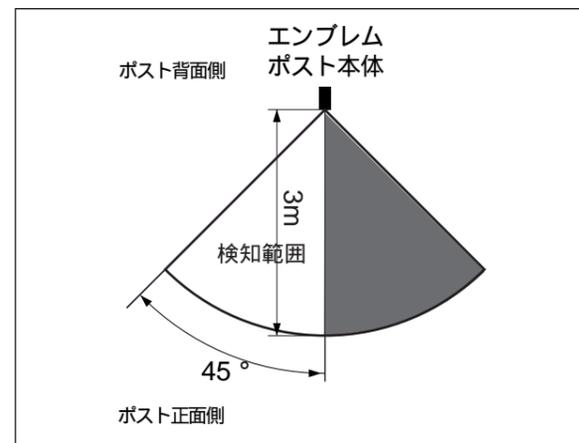
### 3. 道路脇の敷地に設置する場合

交通量の多い道路脇に、エンブレムポストを設置した場合、感知エリアが道路にはみ出してしまい、自動車や歩行者に反応してしまうことがあります。

そのような場合は、エンブレムポストのセンサー窓をマスクすることにより、感知エリアを狭めることが出来ます。



上の図は、センサー窓の右半分をマスクしたものです。この結果感知エリアは下の図のようになります。



センサー検知範囲平面図

センサー窓のマスクには、ホームセンター等で販売されている台所用のアルミ粘着テープ(ガステーブル、流し台などの継ぎ目や隙間をふさぐためのテープ)等の耐水性・耐熱性のあるテープをお使いください。

## こんな時には

暗くなるまで点灯しない  
「明暗」の調整ネジを少し右にまわしてください。

明るいうちに点灯してしまう  
「明暗」の調整ネジをすこし左に回してください。

フラッシュライトがなかなか点灯しない  
「遅延」の調整ネジを左にまわしてください。一番左までまわすと、遅延時間なしで点灯します。

フラッシュライトがすぐに点灯してしまう  
「遅延」の調整ネジを右にまわしてください。遅延時間が長くなり誤作動の可能性が低くなります。

道路をあるいている人に反応してしまう  
感知エリアが道路にはみだしている場合は、人感センサーの窓の一部をふさいで、感知エリアを狭めてください。詳しくは「道路脇の敷地に設置する場合」を参照してください。

フラッシュライトを点灯させたくない  
フラッシュライトによる警報機能は、「フラッシュ」の調整ネジを一番左端までまわすことにより停止させることが出来ます。

フラッシュライトが点灯しない  
フラッシュライトは、蛍光灯が点灯している時間帯にのみ動作します。蛍光灯が消灯している時は、フラッシュライトは点灯しません。また、次の2点をチェックしてください。  
・「フラッシュ」の調整ネジを右にまわしてください。左側端付近では、フラッシュの時間はゼロ秒に設定されます。  
・「遅延」の調整ネジを左にまわしてください。一番左端までまわすと、遅延時間はゼロになって即座にフラッシュライトが点灯するようになります。

樹木に反応してしまう  
樹木など移動する熱源が感知エリア内にある場合は、「道路脇の敷地に設置する場合」を参照して人感センサーの窓の一部をふさいでください。  
なお、感知エリアは約3メートルの距離ですが、一部3メートルを超えて5メートルくらいまでの物体に反応する場合があります。

## 仕様

人感センサー部	
形式	焦電型赤外線センサー
感知エリア	ポスト背面3メートル以内。角度90度以内
設定機能	遅延時間設定機能
フラッシュライト部	
光源	キセノンバルブ
発光回数	100回/分±10回
設定機能	フラッシュ継続時間(5~30秒)
その他	
明暗センサー	表札バックライトと防犯機能のオン・オフ
動作表示LED	ポスト通電時に1回/秒で点滅
電源部	AC100V(ポストバックライトと共通)

## お手入れ

人感センサー、明暗センサーの窓、フラッシュライトの表面の汚れが目立ってきたら、水にぬらした柔らかい布で拭き取ってください。  
なお、人感センサー窓、明暗センサー窓は柔らかい樹脂でできています。強い力で押すと歪む場合がございますので、ご注意ください。

## ご注意

防犯機能は侵入者に対してフラッシュライトによる警告を発することを目的として開発されたものです。侵入者の存在を屋内または屋外の他者に対して通知する機能、盗難防止機能、災害防止機能は備えていません。万一発生した盗難事故・人身事故・災害事故及び機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変(誘導雷サージ含む)などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

センサーは移動する人体の熱エネルギーを感知します。同様の急激な温度変化のある場所など、次の場所には取り付けないでください。

- ・エアコン室外機などの吹き出し口付近
- ・強い振動や電気ノイズのある場所
- ・感知エリア内に白熱灯や急激な温度変化のある場所
- ・感知エリア内に樹木等の植栽のある場所
- ・感知エリアに交通量の多い車道などがある場所

(上記の場所にエンブレムポストを設置する場合には、人感センサー窓の一部をマスクすることにより誤作動が回避可能なことがあります)

感知範囲図は大まかな範囲を示しています。特にポスト背面10度以内の範囲では5メートル近くまで感知することがあります。

遅延機能は、センサーの感知エリアを短時間で通過した者を家人と見なし、警告を発しないとする機能です。遅延時間の設定および感知エリアを通過または滞留した時間によって、警告が発生されなかったり、意図しない警告が発せられたりしますので、ご了承ください。また、感知エリアに設定された遅延時間を超えて人が滞在した場合でも、静止している場合には警告は発生しません。

エンブレムポスト本体の設置工事は必ず電気工事の資格保持者の方がおこなってください。